

# 基地対策協議会が厚木基地の

## 早期返還と基地対策の抜本的改善を要請

大和市基地対策協議会(会長・土屋市長)は8月29日、防衛庁、防衛施設庁、外務省、在日米国大使館を訪問し、「厚木基地の早期返還と基地対策の抜本的改善に関する要望書」を提出しました。

当日は、守屋武昌防衛庁事務次官、増田慎吾防衛施設庁施設調査官、河相周夫外務省北米局長、レイモンド・F・グリーン在日米国大使館安全保障政策課長にそれぞれ面会し、要望書を直接手渡しました。

同協議会では厚木基地の諸問題について、昨年度までは多岐にわたる内容を要望してきました。今回は、今年5月の在日米軍再編に関する日米両政府の合意および閣



外務省で河相北米局長(中央)に要請

議決定を受け、より効果的なものとするために、重点事項に絞った内容とししました。

主な要望事項は、日米両政府が合意した厚木基地の空母艦載機の移駐について早期実現を図ることや、基地周辺対策の拡充などです。こうした事項を強く求めると同時に、在日米軍再編の進捗状況について説明を求めました。

これに対し、守屋事務次官は「これまで何度も大和市を訪れ、実情はよく承知している。この状況を早く直さないといけないという考えから、在日米軍再編を取りまとめた。この観点から、確実に再編の内容を実施していく」と述べ、河相北米局長は「米軍基地の存在により、大和市に長年大変な迷惑をかけている。厚木基地の騒音軽減は、国の重要な懸案事項である。艦載機の移駐は着実に実施していくが、それでも2014年までという年月がかかる。この間の負担をいかに小さくしていくかについても、政府として努力していきたい」と述べました。

また、グリーン安全保障政策課長は、「日米両政府により合意された内容の実現に向け、日米間で協議が続けられており、大使館としても支援していく。このことが実現すれば負担は軽減するものと考えてい

る」と述べ、それぞれ大和市の置かれている現状に理解を示し、負担の軽減を図る考えを明らかにしました。

大和市基地対策協議会や市では、在日米軍再編の進捗状況を注視しながら、引き続き厚木基地にかかわる問題の解決に向けて全力で取り組んでいきます。

問い合わせは、市役所基地対策課基地対策担当(260)5310、☒kouhin。

### 古民家を巡ろう!

## 「施設めぐり」の参加者を募集

市の公共施設などをバスで回り、見学する施設めぐりの参加者を募集します。

今回は、移築・復元された大和の古民家などを巡ります。昼食後は、市長との懇談も予定していますので、この機会にぜひご参加ください。

とき 11月24日(金)午前9時20分に市役所正面玄関集合、午後3時30分ごろ市役所解散。

見学先 下鶴間ふるさと館、環境管理センター、グリーンアップセンター、泉の森(郷土民家園を含む) 雨天時は、グ

### ジョニーのAROUND TOWNで 市政の話題を生放送

FMやまと(77.7MHz)で放送している「ジョニーのAROUND TOWN」で、市の仕事やイベントなどをレポートします(放送日・内容は、変更される場合があります)。放送時間▶毎週水曜日午後1時40分~(10~20分程度)

放送日	内容
10月18日	市民活動交流フェスタ
25日	大和市環境立市フェア2006
11月1日	やまと産業フェア2006
8日	秋の火災予防運動と防火ポスター展
15日	DV防止キャンペーン

ーンアップセンターと泉の森を、中部浄化センターと大和スポーツセンターに変更します。

対象/定員 市内在住・在勤・在学・在活 動者/25人  
申し込み 11月7日(火)までに電話で市役所広報課へ。先着順。  
昼食は市で用意します。

問い合わせは、市役所広報課広報担当(260)5314、☒kouhin。

10月15日は福祉の日

## 地域福祉を推進するために

### 福祉の日

市では、すべての市民がお互いに福祉について考え反省する日として、10月15日を「福祉の日」と定めています。一人一人がお互いの存在を尊重し合い、共に支え合う地域社会の実現を目指しましょう。

### 「大和市バリアフリーマップ」の内容を見直し中

大和市福祉推進委員会は、市内の商業施設を中心に、車いす使用者や視覚・聴覚障害者を補助する設備の有無などを掲載した「大和市バリアフリーマップ」を昨年8月に作成。障害者や高齢者が一人で安心して街に出掛けられるよう、市内公共施設などで無料配布しました。

同マップについて、発行後に利用者から市内の駅、公共施設、公園などの情報や音響信号機の記載を希望する意見が寄せられました。こうしたことを踏まえ、同委員会では、車いす使用者や視覚・聴覚障害者も参加するバリアフリーマップ検討チームを7月に組織し、同マップの見直しを進めています。

市では、より使いやすいマップを作成するため、現在のバリアフリーマップについての意見を募集しています。

募集期間 11月20日(月)まで

提出方法 直接またはファクス(262)0999、Eメール、郵送で〒2428

601保健福祉センター福祉総務課へ。

同マップは市のホームページ (<http://www.city.yamato.lg.jp/f-soumu/>)

[chikikukushi/fukushinohi/fukushinohi.htm](http://chikikukushi/fukushinohi/fukushinohi.htm))のほか、市役所、保健福祉センター、各学習センターで閲覧できます

(現在、配布はしていません)。

### 「福祉の手 全員集合」参加者募集!

市は、昨年度に引き続き、地域福祉活動団体の活動報告や体験談を聞き、介助法などを学ぶ「ふくしの手 全員集合」の参加者を募集します。

同事業は、「大和市地域福祉計画」の進行管理の中で課題とされた、福祉を担う人材の発掘と育成について、「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づく協働事業として実施。昨年度は協働事業者の協力を得て講習会を開催しました。

今年度は、ボランティア基礎入門のほか、「子育て支援」「高齢者支援」「障害児・者支援」の各テーマで開催します。それぞれの分野の地域福祉活動団体の活動者が、活動内容ややりがいなどについて話します。

大和の地域福祉を「知り」「学び」「体感」

できる「ふくしの手 全員集合」にぜひご参加ください。

協働事業者

NPO法人 想、パパボラやまと、社会福祉法人 敬愛会。

とき

・おひさまコース(子育て支援) / 11月14日(火)午後1時30分～4時

・きらきらコース(高齢者支援) / 11月17日(金)午後6時30分～9時

・あおぞらコース(障害児・者支援) / 11

### 街づくり学校(基礎コース)を開催

## 防災街づくりを学ぼう! 震災に強い街づくりとは

とき	ところ	内容
11月11日	市役所5階研修室	「防災街づくり」とは? ・「防災街づくり」を学ぼう ・まちを点検して歩こう
25日	市役所会議室棟201・202	街づくりの視点から建物を見直そう ・地震に強い建物について学ぼう ・建物の構造モデルを作ってみよう
12月2日		「防災街づくり」についてまとめよう

「日ごろ暮らしている自分たちの家とまち。地震のときはどうなるのだろう。今回の街づくり学校では、このような問題を一緒に考えていきます。街づくりを防災の面から見直し、「震災に強い街づくり」を学びませぬか。

月21日(火)午後1時30分～4時  
ところ いずれも保健福祉センター

対象/定員 地域福祉活動に関心がある18歳以上の市内在住・在勤・在学者/各コース20人

申し込み 11月10日(金)までに電話またはEメールで。先着順。

問い合わせは、福祉総務課福祉政策担当 ☎(260)5604、✉f-soumuへ。

とき 11月11日・25日、12月2日の土曜日 午前9時30分～午後3時30分 午前9時30分～正午(全3回)  
講師 首都大学東京教授 中林一樹氏、建築設計工房 高橋国彦氏(有) 相原聡建築設計事務所 相原聡氏  
対象/定員 市内在住・在勤・在学・在活動者/30人  
申し込み 11月9日(木)までに電話、ファクス(264)6105、Eメールで。先着順。  
問い合わせは、市役所都市整備課街づくり推進担当 ☎(260)5483、✉t-seibiへ。